

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 石川 真奈葉
所属 (School) 生命環境科学域獣医学類
学年 (Grade) 3年
留学先 (Name of overseas institution) タイ カセタート大学、他
留学期間 (study abroad period) 2022/8/29~2022/9/3
記入日 (Date) 2022/9/13

留学レポート Study Abroad Report

1. 研修に参加した経緯

私は、食生産科学副専攻の「国際食料流通演習」という科目でタイに渡航し、現地で主に食品の生産や流通現場を見学し、それらについて学びました。食生産科学副専攻は1年時から履修していて、獣医学類の専門科目に加えて、「植物病理学」や「食品保存・添加物論」などの講義や国内で行われる学外実習などに参加してきました。これらの講義や実習を通して、食品の生産・加工現場での安全確保やその過程における課題について学習しました。今回の渡航では、日本とタイの食品産業の構造の違いや食品を通じた日本とタイのつながりなどを実感することを目標としました。本来は2年時にタイへ渡航する予定でしたが、コロナ禍で渡航が困難となったため、1年延期して今年度渡航することとなりました。初めに家族にタイに渡航する意向を伝えたときは、副専攻でもともと渡航するつもりであったことは伝えていたため、それほど驚かれることもなく受け入れてくれました。ただ、家族も私自身もコロナの状況や社会情勢の面で少し不安はありましたが、教員も引率してくださり、学校からもサポートして頂けたため安心して渡航することができました。

2. 渡航前

渡航の準備はコロナ禍ということもあり、手続きなども多いと思っていましたが、実際はワクチン接種証明書を用意して保険に加入したりパスポートの更新をしたりする程度で予想よりも大変ではなかったです。タイはコロナ禍でも比較的入国しやすい国だったため渡航準備にはそれほど時間はかかりませんでした。また、旅券なども大学側で用意して教員が立て替えてくださったのでとてもスムーズに渡航準備することができました。

3. 現地での体験

現地のスケジュールは非常に盛りだくさんで滞在した5日間すべてが思い返してみると濃密な時間だったと思います。まず、初日は夕方に着し、初めてのタイ料理を食べに行きました。学類を超えたメンバーで和気あいあいとした雰囲気の中食事をすることができて良かったです。普段タイ料理をあまり食べないので、口に合わなかったらどうしようかと心配でしたが、とても美味しかったです。



食事の様子



初めて現地で食べた本場のタイカレー

2 日目からはバスで Kasetsart 大学、Ueno Fine Chemical Industry(Thailand),Ltd(ウエノタイ)、Thammasat 大学、Thai Prima Ham Co.,Ltd(プリマハム)へ向かい講義を受けたり工場見学などをさせていただきました。これまで学んできた日本の食品産業とは異なっている部分もたくさんありましたが、共通している部分もあることに気がきました。一例を挙げると、タイの農業でも日本と同じように労働人口の高齢化が問題になっていると知りました。自分では気付けないことや日本では得られない知識を身に付けることができるのは海外で現地の人々の視点から講義を受けることの魅力だと感じました。一方で、英語での授業だったためついていくのが少し大変でした。英語は得意な方だと思っていましたが、過去に行ったことのある英語圏の国とは違いかかなり訛りがあり、聞き取れない部分も多々ありました。農場見学では農場の仕組みやビジネスについてとても丁寧に説明してくださりました。以前、国内でも農場見学の実習がありましたが、その時に見たものとは全く異なる仕組みで農業をされていたので驚きました。想像もしていなかったような工夫がなされていて、資源を上手く活用していてとても持続可能なスタイルだったことが印象に残っています。ウエノタイやプリマハムの工場見学では、工場の設備などの見学に加え、日本企業のタイ進出におけるビジネスについても、現在の世界の状況を踏まえて非常にタイムリーなお話を伺うことができました。事前学習で調べて知った事実に対してより深く学ぶことができましたと思います。

終日自由行動日も 1 日ありました。事前に聞いていたのでルームメイトの友人とツアーを予約し参加しました。バンコクから少し離れた線路市場や水上マーケット、アユタヤ遺跡に行きました。滞在していたバンコク中心部とは少し異なる街並みで興味深かったです。大学や企業での勉強の合間に観光を楽しめてとても充実した一日でした。

4. 研修を終えて

本来は 2 年で行く予定だったタイ研修ですが、私は 3 年で行けて良かったと感じています。獣医学類では 2 年次から専門科目が始まりますが、3 年前期に微生物に関する実習や食品衛生に関する講義などを受講していたのでこれを通して学んだ知識が今回の研修でも非常に役に立ったと思います。講義の内容が頭に入りやすいと感じた部分がありました。コロナ禍で海外に行くのは初めてで、無事に出国し帰国できるのか、問題なく研修を終えられるかなど不安な部分も多かったですが、得られた経験はそれ以上に貴重なもので本当に行って良かったと感じました。もし研修や留学で海外に行こうか悩んでいる学生がいたら、ぜひチャレンジして欲しいです。日本で生活していて感じられない文化の違いに気付き、日本では得られない知識を得るとても良い機会だと思います。最後になりましたが、タイ研修にあたり準備をくださった食副専攻支援室の皆さま、引率してくださった先生方、現地でお世話になったすべての人々に感謝しています。自分の力だけでは到底実現できなかったタイ研修が非常に実りのある経験になったのもすべて皆様のおかげです。この研修を通して学んだことを今後に生かし、より良い学びにつなげていきたいです。本当にありがとうございました。



メークロン線路市場にて



水上マーケット



アユタヤ遺跡